

Ethernet PC Card

PCMCIA TYPE II 準拠

ダングレス 16bit 10/100Mbps イーサネット PC カード

LD-CDL/TX

パッケージ内容を確認する	P6
製品の保証とユーザ登録	P7 ~ P8
本製品について	P9 ~ P10
各部の名称とはたらき	P11
本製品を使用するときの注意事項	P12
コンピュータ本体への取り付けと取りはずし	P13 ~ P16
WindowsXP でのセットアップ	P17 ~ P19
WindowsMe でのセットアップ	P20 ~ P22
Windows2000 でのセットアップ	P23 ~ P25
Windows98 でのセットアップ	P26 ~ P30
ドライバのアンインストール	P31 ~ P37
ネットワークの設定について	P38 ~ P49
アダプタのプロパティについて	P50 ~ P51
付録 1 こんなときは	P52 ~ P59
付録 2 仕様	P60

User's Manual

ご注意

- 本製品の仕様および価格は、製品の改良等により予告なしに変更する場合があります。
- このマニュアルの著作権は、エレコム株式会社が所有しています。
- このマニュアルの内容の一部または全部を無断で複製 / 転載することを禁止させていただきます。
- このマニュアルの内容に関しては、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- このマニュアルの内容に関しましては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、弊社ラニード・サポートセンターまでご連絡ください。
- 本製品のうち、戦略物資または役務に該当するものの輸出にあたっては、外国為替法に基づく輸出または役務取引許可が必要です。
- 本製品は日本国内での使用を前提に製造されています。日本国外での使用による結果について弊社は一切の責任を負いません。また、本製品について海外での保守、サポートはおこなっておりません。
- Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の登録商標です。そのほか、このマニュアルに掲載されている商品名 / 社名などは、一般に各社の商標ならびに登録商標です。本文中における ® および ™ は省略させていただきました。

PCMCIA TYPE II 準拠 ダングレス 16bit
10/100Mbps イーサネット PC カード

LD-CDL/TX

User's Manual

ユーザーズマニュアル

はじめに

この度は、弊社ラニード製品 PCMCIA TYPE II 準拠ダングレス 16bit 10/100Mbps イーサネット PC カード "LD-CDL/TX" をお買い上げいただき誠にありがとうございます。このマニュアルには、"LD-CDL/TX" をコンピュータに導入するにあたっての手順が説明されています。また、お客様が安全に "LD-CDL/TX" を扱っていただくための注意事項が記載されています。コンピュータ本体への取り付け作業を始める前に、必ずこのマニュアルをお読みになり、安全に導入作業をおこなって製品を使用するようにしてください。

このマニュアルは、製品の導入後も大切に保管しておいてください。

●このマニュアルで使われている記号について

記 号	意 味
	作業上および操作上で特に注意していただきたいことを説明しています。この注意事項を守らないと、けがや故障、火災などの原因になることがあります。注意してください。
	説明の補足事項や知っておくと便利なことを説明しています。

安全にお使いいただくために

けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

 警告	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大けがなど人身事故の原因になります。
 注意	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。

警告



小さな子供のいるそばで、取り付け取りはずしの作業をおこなわないでください。また、子供のそばに工具や部品を置かないようにしてください。

けがや感電をしたり、部品を飲み込んだりする危険性があります。



本製品の取り付け、取りはずしのときは、必ずコンピュータ本体および周辺機器メーカーの注意事項に従ってください。



本製品の分解、改造、修理をご自分でおこなわないでください。火災や感電、故障の原因になります。また、故障時の保証の対象外となります。



本製品を取り付けたコンピュータ本体から煙やへんな臭いがしたときは、直ちに電源を切り、AC コンセントから電源プラグを抜いてください。そのあと、ご購入店などにご連絡ください。

そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。



本製品を取り付けたコンピュータ本体に、水などの液体や異物が入った場合は、直ちに電源を切り、AC コンセントから電源プラグを抜いてください。そのあと、ご購入店などにご連絡ください。

そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。



本製品および本製品を取り付けたコンピュータ本体を、水を使う場所や湿気の多いところで使用しないでください。
火災や感電、故障の原因になります。

注意



コンピュータ本体のカバーや本製品の取り付け、取りはずしのときは慎重に作業をおこなってください。
強引な着脱は、機器の故障や、けがの原因になります。



本製品の取り付け、取りはずしのときは、本製品に触れる前に金属性のもの(スチールデスク、ドアのノブなど)に手を触れて、静電気を除去してから作業をおこなってください。
静電気は本製品の破損の原因になります。



本製品および本製品を取り付けたコンピュータ本体を次のようなところで使用しないでください。

- ・高温または多湿なところ、結露を起こすようなところ
- ・直射日光のあたるところ
- ・平坦でないところ、土台が安定していないところ、振動の発生するところ
- ・静電気の発生するところ、火気の周辺



長期間、本製品を取り付けたコンピュータ本体を使用しないときは、電源プラグを抜いておいてください。

導入手順フロー

本製品を使用するまでの手順の流れを示します。

1 パッケージの内容を確認します。
(6 ページ)

2 ユーザ登録をします。
(7 ページ)

3 本製品を取り付けます。
(13 ページ)

4 Windows のプラグ&プレイ機能により、本製品を自動的に認識します。

本製品のドライバをインストールします。

WindowsXP :	17 ページ
WindowsMe :	20 ページ
Windows2000 :	23 ページ
Windows98 :	26 ページ

5 必要に応じてプロトコルやサービスを追加します。



Windows95/95OSR2/WindowsNT のドライバのインストール方法については、本製品付属のドライバディスクの「Win95」、「Nt」フォルダ内にある「Win95.txt」、「Nt40.txt」をそれぞれ参照してください。

もくじ

安全にお使いいただくために	2
導入手順フロー	4
もくじ	5
1 パッケージ内容を確認する	6
2 製品の保証とユーザ登録	7
製品の保証とサービス	7
ユーザサポートについて	8
3 本製品について	9
本製品の特長	9
動作環境	10
4 各部の名称とはたらき	11
5 本製品を使用するときの注意事項	12
6 コンピュータ本体への取り付けと取りはずし	13
取り付け方法	13
取りはずし方法	14
7 WindowsXP でのセットアップ	17
8 WindowsMe でのセットアップ	20
9 Windows2000 でのセットアップ	23
10 Windows98 でのセットアップ	26
11 ドライバのアンインストール	31
WindowsXP でのアンインストール	31
WindowsMe/98SE/98 でのアンインストール	34
Windows2000 でのアンインストール	35
12 ネットワークの設定について	38
WindowsXP のネットワーク設定例	38
WindowsMe/98SE/98でのピア・ツー・ピア環境の設定例	41
Windows2000 のネットワーク設定例	43
13 アダプタのプロパティについて	50
プロパティを表示する	50
設定項目の詳細	51
付録 1 こんなときは	52
Laneed サポートセンターへ連絡する前に	59
付録 2 仕様	60

1 パッケージ内容を確認する

本製品のパッケージには、次のものが入っています。作業を始める前に、すべてが揃っているかを確認してください。なお、梱包には万全を期しておりますが、万一不足品、破損品などがありましたら、すぐにお買い上げの販売店または弊社ラニード・サポートセンターまでご連絡ください。

●イーサネット PC カード

LD-CDL/TX 1 枚



●ドライバディスク

3.5 インチフロッピーディスク 1 枚

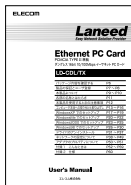


●ユーザ登録カード

はがき 1 枚

●ユーザズマニュアル

1 冊



●保証書

2 製品の保証とユーザ登録

製品の保証とサービス

本製品は、保証書が付いています。内容をお確かめの上、大切に保管してください。ユーザサポートについては8ページをご覧ください。

■保証期間

保証期間はお買い上げの日より1年間です。保証期間を過ぎたの修理は有料になります。詳細については保証書をご覧ください。保証期間中のサービスについてのご相談は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

■保証範囲

次のような場合は、弊社は保証の責任を負いかねますので、ご注意ください。

- ・ 弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障
- ・ 本製品をお使いになって生じたデータの消失、または破損
- ・ 本製品をお使いになって生じたいかなる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

■修理の依頼

保証期間中に故障した場合には、故障した製品と保証書におよび修理依頼書(故障状況を記入したもの)を添えてご連絡ください。修理品のお問い合わせについては、エレコム修理センターまでお問い合わせください。

修理品ご送付先

- ・ 住所 〒192-0904 東京都八王子市子安町 3-5-2
エレコム修理センター

なお、上記住所は修理品受付のみになります。

修理品についてのお問い合わせは、下記の連絡先にお願いします。

エレコム修理センター(お問い合わせ窓口)

- ・ 電話番号 0426-31-0271 ・ FAX 番号 0426-31-0272
- ・ 受付時間 月曜日～金曜日 9:00～12:00 13:00～17:00
(夏期・年末年始特定休業日、祝祭日は除く)

ユーザサポートについて

ユーザサポートは、ユーザ登録されているユーザの方を対象におこなっているサービスです。ユーザ登録されていない場合は、ユーザサポートを受けることができません。ユーザ登録は、ホームページ上でのオンライン登録とユーザ登録カードを送付する方法があります。

■ホームページからのオンライン登録

ユーザ登録は、ホームページからオンライン登録できます。次の URL アドレスにアクセスし、必要事項を入力して登録してください。登録が完了すると、登録完了の電子メールが送信されます。なお、オンライン登録されますと、ユーザ登録カードを返送していただく必要はありません。登録された方には、電子メールで新製品情報、サポート情報をお届けします。

エレコム ホームページアドレス
<http://www.elecom.co.jp/>

■ Laneed サポートセンター

本製品をお使いになっているときに、何らかのトラブルが起きたときや、操作方法や使いかたがわからなくなったときには、Laneed サポートセンターにご連絡ください。

- ・電話番号 03-3444-5571 ・FAX 番号 03-3444-8205
- ・受付時間 月曜日～金曜日 9:00～12:00 13:00～18:00
 (夏期・年末年始特定休業日、祝祭日は除く)

※ FAX による受信は、24 時間受け付けています。

■ FAX 情報サービス

エレコム製品に関する最新情報を 24 時間いつでも FAX でお届けします。お近くの下記サービス情報 BOX センターにお電話をおかけください。ガイダンスにしたがって取り出したい BOX 番号をご指示ください。

東京 03-3940-6000 / 大阪 06-6455-6000 / 名古屋 052-453-6000 /
 福岡 092-482-6000 / 札幌 011-210-6000 / 仙台 022-268-6000 /
 広島 082-223-6000

メインメニュー BOX 番号

5 5 9 9 0 0

※在庫・納期・価格などに関するお問い合わせは、各営業拠点へお願いいたします。

3 本製品について

本製品の特長や動作環境などを説明します。

本製品の特長

●メディアカプラ不要の便利タイプ

PCカード本体に装備されたポート部分に RJ45イーサネットケーブルを接続するだけで、ネットワークとつながります。メディアカプラのコネクタ不良や断線がなくなり、持ち運びにも便利です。

●プラグ & プレイで簡単設定

本製品は Windows XP/Me/2000/98SE/98のプラグ & プレイに対応しています。システムの本製品を認識すると自動的にセットアップが開始され、画面に表示されるメッセージに従ってドライバのインストールやネットワーク設定をおこなうだけで、すぐに使用できるようになります。IRQなどのむずかしいハードウェア設定を意識する必要はありません。

●ホットプラグに対応

本製品はWindows XP/Me/2000/98SE/98でサポートされている「ホットプラグ(活線挿抜)」に対応していますので、ホットプラグに対応した環境では、コンピュータの本体の電源を入れたまま、本製品の抜き差しが可能です。

●PCMCIA TYPE II 準拠

本製品はPCMCIA規格TYPE IIに準拠しています。PCMCIA TYPE IIまたはTYPE IIIに準拠したPCカードスロットで使用できます。

● Auto-Negotiation 対応だから 10Mbps ⇔ 100Mbps 自動切り替え

Auto-Negotiation 機能により、接続先の伝送速度を自動的に判断、10Mbps か 100Mbps か適切な伝送速度を実現します。また、詳細設定によりネットワークアダプタのプロパティで、伝送速度を固定することも可能です。

● Full-Duplex 対応で高速データ転送

Full Duplex(全二重モード)に対応。同じく Full Duplex 対応のスイッチング HUB に 100BASE-TX または 10BASE-T 用ケーブルで接続すると、データの送信と受信を同時におこなえます。これにより、チャンネルの帯域幅が 200Mbps(10BASE-T は 20Mbps) に増大され効率のよい伝送路を持ったネットワーク環境が実現できます。さらに、CSMA/CD プロトコルの特長であるコリジョンの回避により、パフォーマンスの低下を防ぎます。

動作環境

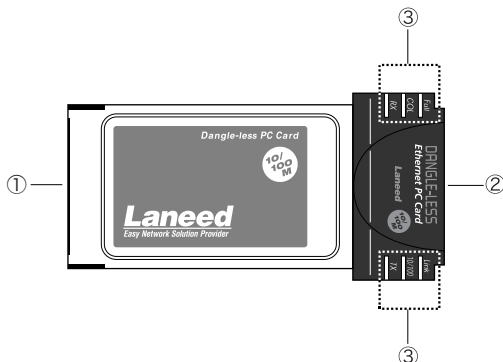
本製品は次の動作環境に対応しています。

対応機種	IBM PC および PC/AT 互換機 (DOS/V マシン)、NEC PC98-NX で、PC カードスロット (PCMCIA TYPE II または TYPE III) を持つ機種。 ※ ノートパソコンの最新の対応情報は、ラニード・ホームページまたは FAX 情報サービスでご確認いただけます。
対応 OS	WindowsXP, WindowsMe, Windows2000, Windows98SE, Windows98, Windows95OSR2, Windows95, WindowsNT4.0

※ ホームページにて、本製品に対する最新の対応 OS およびドライバのご案内をしています。

4 各部の名称とはたらき

LD-CDL/TX の各部の名称とはたらきを説明します。



①	68 ピンコネクタ		コンピュータの PCMCIA TYPE II 対応の PC カードスロットに差し込む側のコネクタです。コネクタを指で触れないように注意してください。
②	RJ45 ポート		10BASE-T または 100BASE-TX 対応のイーサネットケーブルの RJ45 モジュラープラグを差し込みます。
③	LED インジ ケータ	Link	リンクが確立されたときに緑色に点灯します。
		10/100	100Mbps 環境の場合に橙色に点灯します。
		TX	データの送信時に緑色に点滅します。
		Full	Full Duplex 対応の環境の場合に緑色に点灯します。
		COL	コリジョンが発生している場合に橙色に点灯します。
		RX	データの受信時に緑色に点滅します。

5 本製品を使用するときの注意事項

本製品を導入するにあたっての注意事項と、導入後に使用するにあたっての注意事項を説明します。必ずこの項目をお読みになり、本製品を正しくお使いください。

●ドライバのインストールにフロッピーディスクドライブが必要です

本製品のドライバは付属のフロッピーディスクで供給されています。本製品のドライバをインストールするためにフロッピーディスクドライブが必要になります。

●Windows オペレーションディスクが必要です

Windows オペレーションシステムの CD-ROM またはフロッピーディスクが必要です。

(インストールモデルなどハードディスクにすべてのオペレーションシステムがインストール済みの場合は不要です)

●PC カードスロットがひとつしかない場合の注意点

PC カードスロットがひとつしかない場合、本製品を取り付けると CD-ROM ドライブが使用できません。本製品のドライバのセットアップを始める前に、OS のシステムソフトウェアの内容(下記の例)をハードディスクにコピーしておいてください。セットアップ中に Windows の CD-ROM を要求されたら、CD-ROM の代わりにハードディスク内にコピーしたディレクトリを指定してください。

例① WindowsXP/2000 の場合

<CD-ROM ドライブ名>:\i386

例② WindowsME/98SE/98 の場合

<CD-ROM ドライブ名>:\\$WIN9X または WIN98

●パワーマネージメント機能について

パワーマネージメント機能を有効にしていると、PC カードスロットへの電源供給も停止されるため、本製品を使用することができません。

必ずパワーマネージメント機能は無効 (OFF) にしてください。

6 コンピュータ本体への取り付けと取りはずし

本製品をノートタイプのコンピュータに取り付ける方法とネットワークへの接続方法を説明しています。PC カードの挿入方法やイジェクト方法は、本体の機種によって異なりますので、お手持ちのコンピュータ本体や PC カードスロットのマニュアルの該当ページも参考にしてください。

取り付け方法



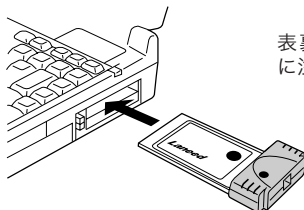
必ずコンピュータ本体や PC カードスロットのマニュアルも併せて読みながら、取り付けてください。



本製品の取り付けを始める前に、必ず金属に触れて身体の静電気を取り除いてください。

- 1** コンピュータ本体の電源が OFF になっていることを確認します。本製品は Windows XP/Me/2000/98SE/98 の「ホットプラグ」に対応しています。これらの Windows でコンピュータを使用する場合は、コンピュータの電源を ON にした状態で本製品を差し込むことができます。

- 2** コンピュータの PC カードスロットに、本製品の 68 ピン側のコネクタを差し込みます。

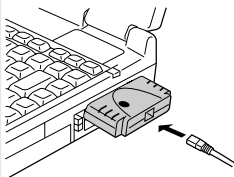


表裏を間違わないように注意してください。



カードを差し込むとき、表裏を間違えると本製品のコネクタやコンピュータ側のコネクタを破損する恐れがあります。無理に差し込まないように注意してください。

3 本製品の RJ45 ポートに 10BASE-T または 100BASE-TX に対応したイーサネットケーブルのコネクタを差し込みます。



コネクタの向きに注意してください。

- ・ WindowsXP をお使いの場合
..... 「WindowsXP でのセットアップ」 17 ページ
- ・ WindowsMe をお使いの場合
..... 「WindowsMe でのセットアップ」 20 ページ
- ・ Windows2000 をお使いの場合
..... 「Windows2000 でのセットアップ」 23 ページ
- ・ Windows98SE/98 をお使いの場合
..... 「Windows98 でのセットアップ」 26 ページ



Windows95/95OSR2/WindowsNT のドライバのインストール方法については、本製品付属のドライバディスクの「Win95」、「Nt」フォルダ内にある「Win95.txt」、「Nt40.txt」をそれぞれ参照してください。

取りはずし方法

コンピュータの PC カードから本製品をイジェクトする方法は、コンピュータ本体によって異なりますので、コンピュータ本体のマニュアルの「PC カードスロット」に関するページを参照してください。なお、Windows XP/Me/2000/98SE/98 のホットプラグにより、コンピュータの電源を入れたまま、本製品を取りはずすときは PC カードスロットから切り離すための操作をおこなう必要があります。



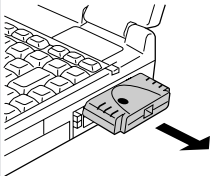
必ずコンピュータ本体や PC カードスロットのマニュアルを参照して取りはずしてください。



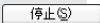
本製品の取りはずすときは、必ず金属に触れて身体の静電気を取り除いてください。

コンピュータ本体の電源が切れた状態での取りはずし

コンピュータ本体のマニュアルの説明に従って、PC カードスロットから本製品を取りはずしてください。

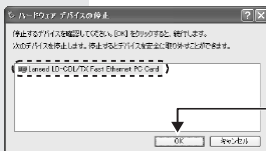


ホットプラグでの取りはずし (WindowsXP の例)

- 1 デスクトップのタスクトレイにある  (PC カード) アイコンをダブルクリックします。
〈ハードウェアの安全な取り外し〉画面が表示されます。
- 2 "Lanecd LD-CDL/TX FAST Ethernet PC Card" を選択し、 をクリックします。
〈ハードウェアデバイスの停止〉画面が表示されます。



- 3 停止するデバイスを確認して、 をクリックします。



- 4** 安全に取りはずすことができますというメッセージが表示されます。
- 5** 本製品を PC カードスロットから取りはずします。
前ページの「コンピュータ本体の電源が切れた状態での取りはずし」を参考にしてください。

7 WindowsXP でのセットアップ

本製品は、WindowsXP のプラグ & プレイ機能に対応しています。
本製品を取り付けて、WindowsXP を起動すると自動的にセットアップが開始されます。

WindowsMe や Windows2000、Windows98 でセットアップする場合は、次のページを参照してください。

- ・ WindowsMe をお使いの場合

「WindowsMe でのセットアップ」 20 ページ

- ・ Windows2000 をお使いの場合

「Windows2000 でのセットアップ」 23 ページ

- ・ Windows98/98SE をお使いの場合

「Windows98/98SE でのセットアップ」 26 ページ

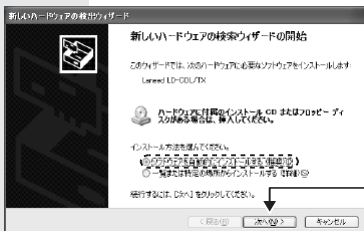
- 1 「6 コンピュータ本体への取り付けと取りはずし」(13 ページ) を参照して、本製品をコンピュータ本体の PC カードスロットに取り付けます。

- 2 コンピュータ本体の電源を ON にして Windows を起動し、Administrator 権限を持つユーザでログオンします。

WindowsXP が起動すると、〈新しいハードウェアの検出ウィザード〉画面が表示されます。

- 3 コンピュータ本体のフロッピーディスクドライブに、本製品付属のフロッピーディスクドライブを挿入します。

- 4 [ソフトウェアを自動的にインストールする (推奨)] ラジオボタンを選択して、**次へ(N) >** をクリックします。



クリック

- 5** ドライバ名、ドライバの場所を確認して、**次へ(N) >**をクリックします。
インストールを開始します。



ドライバ名、
ドライバの場所
を確認します。

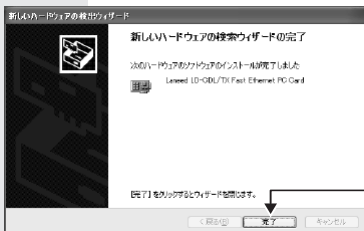
クリック

- 6** 〈ハードウェアのインストール〉画面が表示されたら、**続行(C)**をクリックします。
インストールを続行します。



クリック

- 7** **完了**をクリックします。



クリック

8 コンピュータのフロッピーディスクドライブから、本製品のフロッピーディスクを取り出します。

これで、WindowsXP のセットアップが完了しました。このあとは、使用するネットワーク環境に合わせて、ネットワークの設定を追加したり変更してください。また、38 ページから WindowsXP のネットワーク設定例について説明しています。参考にしてください。

8 WindowsMe でのセットアップ

本製品は、WindowsMe のプラグ & プレイ機能に対応しています。本製品を取り付けて、WindowsMe を起動すると自動的にセットアップが開始されます。

WindowsXP や Windows2000、Windows98 でセットアップする場合は、次のページを参照してください。

- ・ WindowsXP をお使いの場合
「WindowsXP でのセットアップ」 17 ページ
- ・ Windows2000 をお使いの場合
「Windows2000 でのセットアップ」 23 ページ
- ・ Windows98/98SE をお使いの場合
「Windows98/98SE でのセットアップ」 26 ページ



Windows95/95OSR2/WindowsNT のドライバのインストール方法については、本製品付属のドライバディスクの「Win95」、「Nt」フォルダ内にある「Win95.txt」、「Nt40.txt」をそれぞれ参照してください。

- 1** 「6 コンピュータ本体への取り付けと取りはずし」(13 ページ) を参照して、本製品をコンピュータ本体の PC カードスロットに取り付けます。
- 2** コンピュータ本体の電源を ON にします。
Windows が起動し、＜新しいハードウェアの追加ウィザード＞画面が表示されます。
- 3** コンピュータ本体のフロッピーディスクドライブに、本製品付属のフロッピーディスクを挿入します。

4 [適切なドライバを自動的に検索する (推奨)] ラジオボタンを選択して、**次へ >** をクリックします。



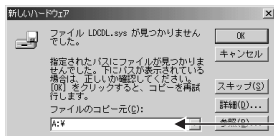
クリック



お使いの環境によっては、ファイルが見つかりませんといった内容の画面が表示されることがあります。この場合は、「ファイルのコピー元」の入力欄にフロッピーディスクドライブ名を指定します。

(例) フロッピーディスクドライブが A ドライブの場合
(小文字でも可)

A:¥



ドライブ名を指定します。

すでにインストールされているファイルのほうが新しい場合は、そのファイルを上書きするか確認のメッセージが表示されます。このような場合は、日付の新しいファイルをそのまま使用するようになしてください。

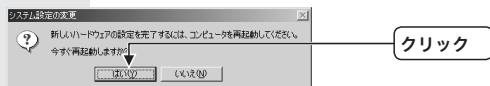
5 **完了** をクリックします。



6 コンピュータのフロッピーディスクドライブから、本製品付属のフロッピーディスクを取り出します。

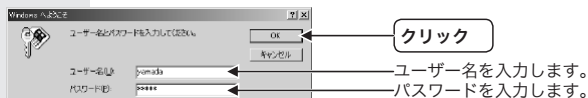
7 お使いの環境によっては、再起動を促すメッセージが表示されます。**はい(Y)** をクリックします。

Windows が再起動します。



8 再起動すると、ネットワークへのログオン画面が表示されます。

OK をクリックします。



- ・[ユーザー名] は必ず入力します。
- ・必要であれば[パスワード]を入力します。パスワードは忘れないようにしてください。

これで、WindowsMe のセットアップが完了しました。このあとは、使用するネットワーク環境に合わせて、ネットワークの設定を追加したり変更してください。また、41 ページから WindowsMe/98SE/98 でのピア・ツー・ピア環境の設定例について説明しています。参考にしてください。

9 Windows2000 でのセットアップ

本製品は、Windows2000 のプラグ & プレイ機能に対応しています。本製品を取り付けて、Windows2000 を起動すると自動的にセットアップが開始されます。

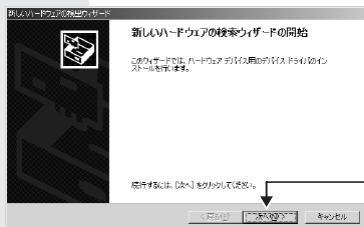
Windows98 や WindowsMe、WindowsXP でセットアップする場合は、次のページを参照してください。

- ・ WindowsXP をお使いの場合
「WindowsXP でのセットアップ」 17 ページ
- ・ WindowsMe をお使いの場合
「WindowsMeでのセットアップ」 20 ページ
- ・ Windows98/98SE をお使いの場合
「Windows98/98SE でのセットアップ」 26 ページ



Windows95/95OSR2/WindowsNT のドライバのインストール方法については、本製品付属のドライバディスクの「Win95」、「Nt」フォルダ内にある「Win95.txt」、「Nt40.txt」をそれぞれ参照してください。

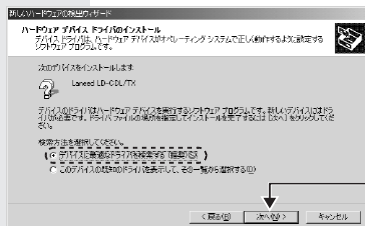
- 1 「6 コンピュータ本体への取り付けと取りはずし」(13 ページ) を参照して、本製品をコンピュータ本体の PC カードスロットに取り付けます。
- 2 コンピュータ本体の電源を ON にして Windows を起動し、Administrator 権限を持つユーザでログオンします。
- 3 「次へ(N) >」をクリックします。
検索方法を選択する画面が表示されます。



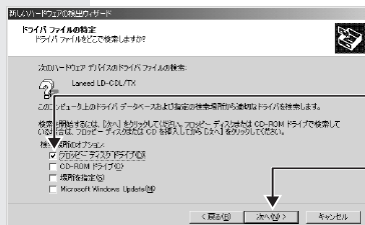
クリック

- 4** コンピュータ本体のフロッピーディスクドライブに、本製品付属のフロッピーディスクを挿入します。

- 5** [デバイスに最適なドライバを検索する (推奨)] ラジオボタンを選択して、**次へ(N) >** をクリックします。



- 6** [フロッピーディスクドライブ] チェックボックスをチェックして、**次へ(N) >** をクリックします。



- 7** **次へ(N) >** をクリックします。
インストールを開始します。



8 「デジタル署名が見つかりませんでした」と表示された場合は、

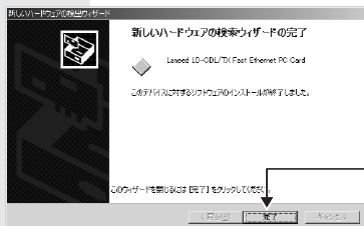
 をクリックします。

インストールを続行します。



クリック

9 完了 をクリックします。



クリック

10 コンピュータのフロッピーディスクドライブから、本製品付属のフロッピーディスクを取り出します。

これで、Windows2000 のセットアップが完了しました。このあとは、使用するネットワーク環境に合わせて、ネットワークの設定を追加したり変更してください。また、43 ページから Windows2000 のネットワーク設定例について説明しています。参考になしてください。

10 Windows98 でのセットアップ

本製品は、Windows98 のプラグ & プレイ機能に対応しています。本製品を取り付けて、Windows98 を起動すると自動的にセットアップが開始されます。

ここでは、Windows98SE の画面で説明していますが、Windows98 をお使いの場合でも同様の手順でセットアップが完了します。

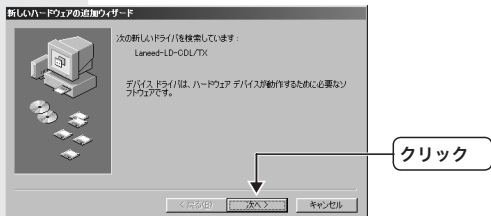
WindowsXP や WindowsMe、Windows2000 でセットアップする場合は、次のページを参照してください。

- ・ WindowsXP をお使いの場合
「WindowsXP でのセットアップ」 17 ページ
- ・ WindowsMe をお使いの場合
「WindowsMe でのセットアップ」 20 ページ
- ・ Windows2000 をお使いの場合
「Windows2000 でのセットアップ」 23 ページ



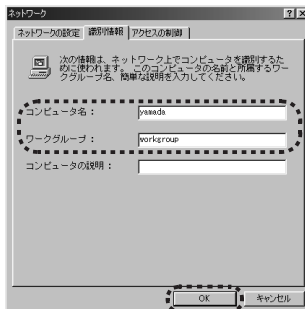
Windows95/95OSR2/WindowsNT のドライバのインストール方法については、本製品付属のドライバディスクの「Win95」、「Nt」フォルダ内にある「Win95.txt」、「Nt40.txt」をそれぞれ参照してください。

- 1 「6 コンピュータ本体への取り付けと取りはずし」(13 ページ)を参照して、本製品をコンピュータ本体の PC カードスロットに取り付けます。
- 2 コンピュータ本体の電源を ON にします。
Windows が起動し、<新しいハードウェアの追加ウィザード>画面が表示されます。
- 3  をクリックします。
検索方法を選択する画面が表示されます。



コンピュータ名、ワークグループ名の入力を促されたときは

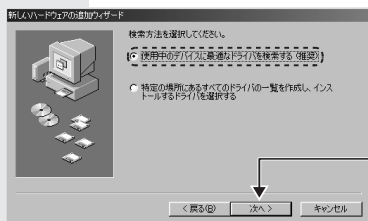
- ① [コンピュータ名]の入力を促すメッセージが表示されます。 **OK** をクリックします。
- ② 【識別情報】タブから[コンピュータ名]と[ワークグループ名]を入力します。



コンピュータ名	インストール中のコンピュータに与える名称を設定します。一般的には、個人単位で使うコンピュータならユーザの名前、部署単位で扱うコンピュータなら部署名などを入力します。
ワークグループ名	インストール中のコンピュータが接続されているネットワークのグループ名を設定します。同一ネットワーク上のコンピュータのワークグループ名はすべて同じになります。

- ③ **OK** をクリックします。

- 4** [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する (推奨)] ラジオボタンを選択して、**次へ>** をクリックします。
ドライバの場所を選択する画面が表示されます。



- 5** コンピュータ本体のフロッピーディスクドライブに、本製品付属のフロッピーディスクを挿入します。

- 6** 「フロッピーディスクドライブ」のみチェックし、**次へ>** をクリックします。
ドライバを検索する画面が表示されます。



- 7** **次へ>** をクリックします。
インストールを開始します。





すでにインストールされているファイルのほうが新しい場合は、そのファイルを上書きするか確認のメッセージが表示されます。このような場合は、日付の新しいファイルをそのまま使用するようになしてください。

8 お使いの環境によっては、Windows98 の CD-ROM を挿入するようにメッセージが表示されます。

Windows98 のバージョンによって、表示されるメッセージは異なります。表示される CD-ROM を挿入し、**OK** をクリックしてください。



Windows98 の CD-ROM が入ったドライブを指定するための画面が表示されたときは、「ファイルのコピー元」の入力欄に CD-ROM を挿入したドライブ名を指定し、ドライブ名のあとに「WIN98」フォルダを指定します。



ドライブ名のあとに「WIN98」フォルダを指定します。

(例) CD-ROM ドライブが E ドライブの場合 (小文字でも可)

e:¥win98

すでにインストールされているファイルのほうが新しい場合は、そのファイルを上書きするか確認のメッセージが表示されます。このような場合は、日付の新しいファイルをそのまま使用するようになしてください。

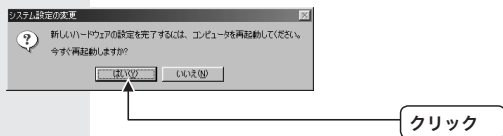
9 **完了** をクリックします。



10 コンピュータのフロッピーディスクドライブから、本製品付属のフロッピーディスクを取り出します。

11 お使いの環境によっては、再起動を促すメッセージが表示されます。**はい(Y)** をクリックします。

Windows が再起動します。



これで、Windows98 のセットアップが完了しました。このあとは、使用するネットワーク環境に合わせて、ネットワークの設定を追加したり変更してください。また、41 ページから WindowsMe/98SE/98 でのピア・ツー・ピア環境の設定例について説明しています。参考にしてください。

11 ドライバのアンインストール

各 OS ごとに本製品のドライバのアンインストールについて説明します。

WindowsMe/2000/98SE/98 の場合は、ドライバを完全にアンインストールするには、ドライバを削除したあとで、ドライバ情報を削除する必要があります。

●アンインストール作業をはじめる前に

次の手順で、すべてのファイルと拡張子が表示できるようにしておいてください。

- 1 WindowsXP の場合は、[スタート] → [マイコンピュータ] をクリックします。

WindowsMe/2000/98SE/98 の場合は、[マイコンピュータ] アイコンをダブルクリックします。

〈マイコンピュータ〉画面が表示されます。

- 2 メニューから [ツール] → [フォルダオプション] をクリックします。

〈フォルダオプション〉画面が表示されます。

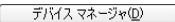
- 3 【表示】タブで、「登録されているファイルの拡張子は表示しない」のチェックを外し、「すべてのファイルとフォルダを表示する」をチェックします。

すべてのファイルと拡張子が表示できるようになりました。

WindowsXP でのアンインストール

- 1 スタートメニューから「マイコンピュータ」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

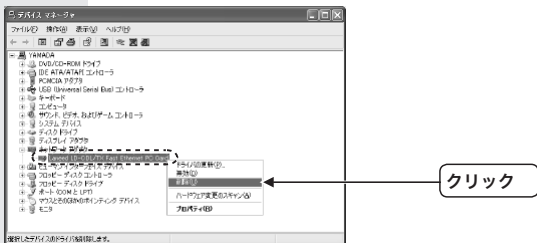
〈システムのプロパティ〉画面が表示されます。

- 2 【ハードウェア】タブで、 をクリックします。

〈デバイスマネージャ〉画面が表示されます。

- 3 "Laneed LD-CDL/TX FAST Ethernet PC Card" を選択して右クリックし、「削除」をクリックします。

〈デバイスの削除の確認〉画面が表示されます。



- 4** **OK** をクリックします。
ドライバが削除されます。

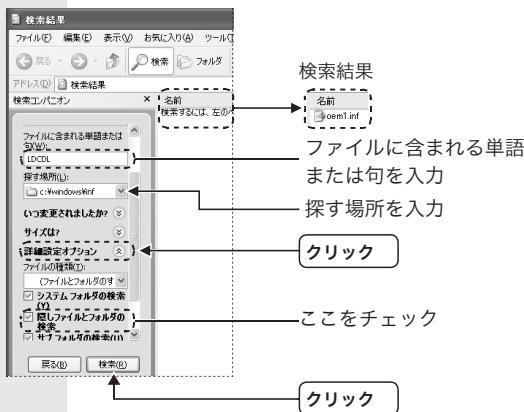


- 5** ドライバ情報を削除します。

- ① [スタート] → [検索] を選択します。
- ② 「何を検索しますか？」の中から、[ファイルとフォルダすべて] をクリックします。
- ③ 検索条件の「ファイルに含まれる単語または句」に "LDCDL"、
「探す場所」に "C:\windows\inf" を入力します。(WindowsXP
をCドライブにインストールしている場合)

[詳細設定オプション] をクリックして、「隠しファイルとフォルダの検索」チェックボックスをチェックし、**検索(R)** をクリックします。

検索結果に "oem * .inf" が表示されます。(" * " は数字です。
この数字はお使いのパソコンの環境によって異なります。)



- ④ 手順③で見つかった "oem *.inf" と同じファイル名で拡張子が .PNF の "oem *.PNF" の 2 つのファイルを "C:\windows\inf" の中から探して削除します。

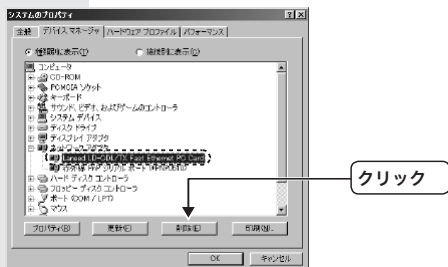


ドライバ情報を削除するときに、他のファイルを誤って削除したり、手を加えないでください。重大なトラブルの原因になります。

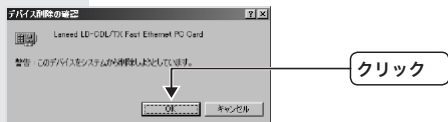
これでドライバのアンインストールは完了です。

WindowsMe/98SE/98 でのアンインストール

- 1 [スタート] → [設定] → [コントロールパネル] を選択します。
コントロールパネルが表示されます。
- 2 [コントロールパネル] の [システム] アイコンをダブルクリックします。
〈システムのプロパティ〉画面が表示されます。
- 3 【デバイスマネージャ】タブで、"ネットワークアダプタ" をダブルクリックし、"Lanecd LD-CDL/TX Fast Ethernet PC Card" を選択し、**削除(E)** をクリックします。
〈デバイス削除の確認〉画面が表示されます。



- 4 **OK** をクリックします。
ドライバが削除されます。



- 5 再起動を促すメッセージが表示されます。**(Y/N)** をクリックします。
- 6 ドライバ情報 "MicrosoftNETLDCDL.INF" を削除します。

ファイルの場所：C:\Windows\Inf\Other\Microsoft\NETLDCDLINF
(Windows Me/98SE/98 を C ドライブにインストールしている場合)



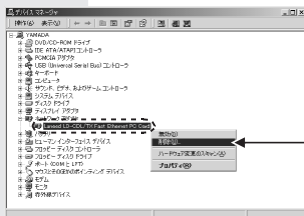
ドライバ情報を削除するときに、他のファイルを誤って削除したり、手を加えないでください。重大なトラブルの原因になります。

これでドライバのアンインストールは完了です。

Windows2000 でのアンインストール

Windows2000 には Administrator 権限でログオンしておきます。

- 1 [スタート] → [設定] → [コントロールパネル] を選択します。
コントロールパネルが表示されます。
- 2 [コントロールパネル] の [システム] アイコンをダブルクリックします。
〈システムのプロパティ〉画面が表示されます。
- 3 【ハードウェア】タブで、**デバイス マネージャ(D)...** をクリックします。
〈デバイス マネージャ〉画面が表示されます。
- 4 "ネットワークアダプタ" をダブルクリックし、"Laneed LD-CDL/TX Fast Ethernet PC Card" を選択して右クリックし、「削除」をクリックします。
〈デバイスの削除の確認〉画面が表示されます。



クリック

5 をクリックします。



クリック

ドライバが削除されます。

確認メッセージが表示されたときは、 をクリックします。

6 ドライバ情報を削除します。

- ① [スタート] → [検索] → [ファイルやフォルダ] を選択します。
- ② 検索条件の「含まれる文字列」に "LDCDL"、「探す場所」に "C:\winnt\inf" を入力して、 をクリックします。
(Windows2000 を C ドライブにインストールしている場合)
検索結果に "oem * .inf" が表示されます。
(" * " は数字です。この数字はお使いのパソコンの環境によって異なります。)



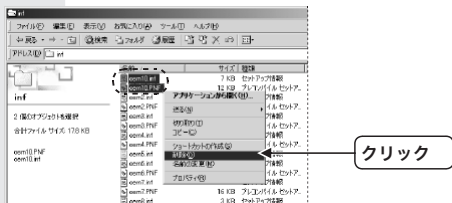
含まれる文字列を入力

検索結果

探す場所を入力

クリック

- ③ 手順②で見つかった "oem * .inf" と同じファイル名で拡張子が .PNF の "oem * .PNF" の 2 つのファイルを "C:\winnt\inf" の中から探して削除します。



ドライバ情報を削除するときに、他のファイルを誤って削除したり、手を加えないでください。重大なトラブルの原因になります。

これでドライバのアンインストールは完了です。

12 ネットワークの設定について

各 OS ごとに簡単なネットワークの設定例について説明します。
お使いの OS、使用するネットワーク環境に合わせて、ネットワークの設定を追加したり変更してください。

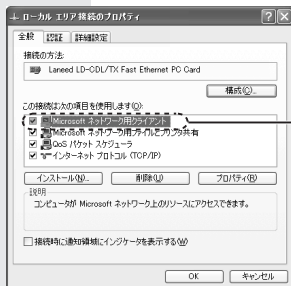
WindowsXP のネットワーク設定例

- 1** [スタート] → [コントロールパネル] を選択します。
コントロールパネルが表示されます。
- 2** [ネットワークとインターネット接続] をクリックします。
〈ネットワークとインターネット接続〉画面が表示されます。
- 3** [ネットワーク接続] をクリックします。
〈ネットワーク接続〉画面が表示されます。
- 4** [ローカルエリア接続] アイコンを右クリックし、メニューから [プロパティ] を選択します。
〈ローカルエリア接続のプロパティ〉画面が表示されます。



[ローカルエリア接続] の名称は、アダプタをインストールした環境によって変わります。〈ローカルエリア接続のプロパティ〉画面に表示されるアダプタ名から、ネットワークを設定するアダプタであるかを確認してください。

- 5** 「この接続は次の項目を使用します」欄に、「Microsoft ネットワーク用クライアント」が表示されているか確認します。
インストールされていても、チェックマークがついていなければネットワークを使えません。名前の先頭にあるチェックボックスをチェックしてください。



ここをチェック

表示されていないときは、「Microsoft ネットワーク用クライアント」をインストールします。

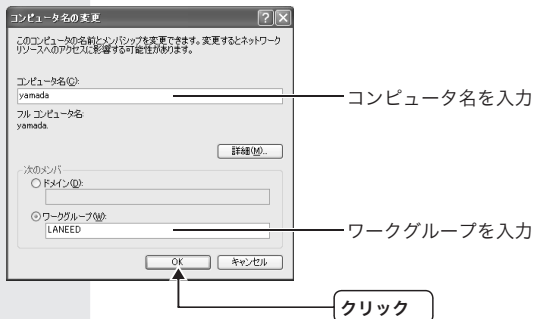
- ①〈ローカルエリア接続のプロパティ〉画面で、**インストール(N)...** をクリックします。
〈ネットワークコンポーネントの種類を選択〉画面が表示されます。
- ②[クライアント] を選択し、**追加(A)...** をクリックします。
ネットワーククライアントの選択画面が表示されます。
- ③「Microsoft ネットワーク用クライアント」を選択し、**OK** をクリックします。
「この接続は次の項目を使用します」欄に「Microsoft ネットワーク用クライアント」が追加されます。

6 スタートメニューから[マイコンピュータ]を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

7 【コンピュータ名】タブで、**変更(C)...** をクリックします。
〈コンピュータ名の変更〉画面が表示されます。

8 コンピュータ名とワークグループ名を設定し、**OK** をクリックします。

表示されているコンピュータ名とワークグループ名から変更する必要がない場合は、**キャンセル** をクリックします。



- 9** 名称を変更すると確認メッセージ（コンピュータ名とワークグループ名の両方を変更した場合は2回）が表示されます。
 をクリックします。

- 10** 〈システムのプロパティ〉画面で、 をクリックします。

- 11** 再起動を促すメッセージが表示されます。 をクリックします。
 再起動すると、今回設定した内容が有効になります。

これで基本的なネットワーク設定は完了です。この他、同じ要領で実際の環境に合わせた設定をおこなってください。



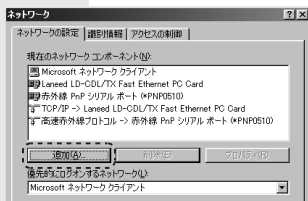
ファイルやプリンタを共有するには、ネットワークが有効になってから次の手順で共有設定をおこなってください。

- ① 共有したいファイルのあるフォルダやプリンタのアイコンを右クリックし、メニューを表示します。
- ② メニューから「共有とセキュリティ」を選択し、必要な事項を設定します。

WindowsMe/98SE/98 でのピア・ツー・ピア環境の設定例

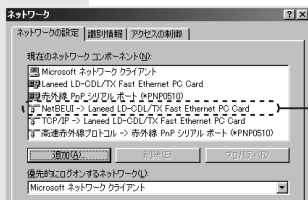
ここでは、WindowsMe/98SE/98 のネットワークでよく利用されるピア・ツー・ピア環境の設定例を説明します。実際の画面上の表示されるネットワークコンポーネント（サービス、プロトコルなど）は、ご使用の環境により異なります。

- 1 [スタート] → [設定] → [コントロールパネル] を選択します。
コントロールパネルが表示されます。
- 2 [ネットワーク] アイコンをダブルクリックします。
〈ネットワーク〉画面が表示されます。
- 3 〈ネットワーク〉画面の【ネットワークの設定】タブにある
追加(A)... をクリックします。
〈ネットワークコンポーネントの選択〉画面が表示されます。



ご使用の環境により表示項目は異なります。

- 4 [プロトコル] を選択し、追加(A)... をクリックします。
〈ネットワークプロトコルの選択〉画面が表示されます。
- 5 [製造元] で "Microsoft" を選択し、[ネットワークプロトコル] で "NetBEUI" を選択します。続いて OK をクリックします。
[現在のネットワークコンポーネント] に "NetBEUI" が追加されます。



追加されたプロトコル

- 6** 手順**3**と同様に、〈ネットワーク〉画面で **追加(A)...** をクリックします。

〈ネットワークコンポーネントの選択〉画面が表示されます。

- 7** [サービス] を選択し、 **追加(A)...** をクリックします。

〈ネットワークサービスの選択〉画面が表示されます。

- 8** [モデル] で "Microsoft ネットワーク共有サービス" を選択します。続いて **OK** をクリックします。

[現在のネットワークコンポーネント] に "Microsoft ネットワーク共有サービス" が追加されます



追加されたサービス

- 9** 「優先的にログオンするネットワーク」が「Microsoft ネットワーク クライアント」になっているか確認します。

異なる場合は変更してください。



「優先的にログオンするネットワーク」が「Microsoft ネットワーク クライアント」になっているか確認します。異なる場合は、変更してください。

- 10** **ファイルとプリンタの共有(E)...** をクリックし、開いた画面で "ファイルを共有 ..." "プリンタを共有 ..." を両方ともチェックし、 **OK** をクリックします。

- 11** 〈ネットワーク〉画面の【識別情報】タブをクリックします。

- 12** 内容を確認し、変更が必要な場合は【コンピュータ名】と【ワークグループ】を入力し、 をクリックします。

項目の意味については、27 ページの「Memo」を参照してください。

ディスクの挿入を促すメッセージが表示されたときは、ディスクを挿入します。詳細については、29 ページの手順 **8** を参照してください。

- 13** 再起動を促すメッセージが表示されます。 をクリックします。

再起動すると、今回設定した内容が有効になります。



ファイルやプリンタを共有するには、ネットワークが有効になってから次の手順で共有設定をおこなってください。

- ① 共有したいファイルのあるフォルダやプリンタのアイコンを右クリックし、メニューを表示します。
- ② メニューから【共有】を選択し、必要な事項を設定します。

Windows2000 のネットワーク設定例

Windows2000 には Administrator 権限でログオンしておきます。

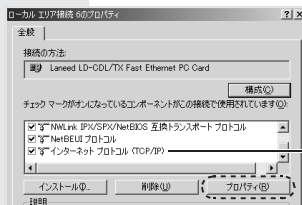
- 1** 【スタート】 → 【設定】 → 【コントロールパネル】 を選択します。
コントロールパネルが表示されます。
- 2** 【ネットワークとダイアルアップ接続】 アイコンをダブルクリックします。
〈ネットワークとダイアルアップ接続〉画面が表示されます。
- 3** 【ローカルエリア接続】 を右クリックし、メニューから【プロパティ】を選択します。
〈ローカルエリア接続のプロパティ〉画面が表示されます。



〔ローカルエリア接続〕の名称は、アダプタをインストールした環境によって変わります。〈ローカルエリア接続のプロパティ〉画面に表示されるアダプタ名から、ネットワークを設定するアダプタであるかを確認してください。

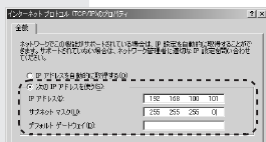
4 [インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選択し、プロパティ(R) をクリックします。

〈インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ〉画面が表示されます。



インターネットプロトコル (TCP/IP) を選択

5 IP アドレスに関する設定をします。



- ・DHCP サーバ（機能）を使用している場合は、「IP アドレスを自動的に取得する」を選択します。
- ・DHCP サーバ（機能）を使用していない場合は、「次の IP アドレスを使う」を選択し、IP アドレスとサブネットマスクを入力します。「デフォルトゲートウェイ」と「DNS サーバ」はルータなどを使用して LAN を超える場合に使用する項目ですので、ここでは入力していません。

6 IP アドレスの設定が終われば、詳細設定(V)... をクリックします。 〈TCP/IP 詳細設定〉画面が表示されます。

- 7** 【WINS】 タブで、「NetBIOS over TCP/IP を有効にする」ラジオボタンを選択して、**OK** をクリックします。
 〈インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ〉画面に戻ります。



- 8** 〈インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ〉画面→〈ローカルエリア接続のプロパティ〉画面で、それぞれ **OK** をクリックして画面を閉じます。さらに〈ネットワークとダイヤルアップ接続〉画面を閉じます。

- 9** [コントロールパネル] の [システム] アイコンをダブルクリックします。
 〈システムのプロパティ〉画面が表示されます。

- 10** 【ネットワーク ID】 タブで、**プロパティ(R)** をクリックします。
 〈識別の変更〉画面が表示されます。

- 11** コンピュータ名とワークグループ名を設定し、**OK** をクリックします。
 表示されているコンピュータ名とワークグループ名から変更する必要がない場合は、**キャンセル** をクリックします。



12 名称を変更すると確認メッセージ（コンピュータ名とワークグループ名の両方を変更した場合は2回）が表示されます。  をクリックします。

13 〈システムのプロパティ〉画面で、  をクリックします。

14 再起動を促すメッセージが表示されます。  をクリックします。

再起動すると、今回設定した内容が有効になります。

これで基本的なネットワーク設定は完了です。この他、同じ要領で実際の環境に合わせた設定をおこなってください。

Windows2000 のユーザ登録例

Windows2000 をインストールしたコンピュータにアクセスできるようにするには、あらかじめ、アクセスを許可するユーザを登録しておく必要があります。

ここでは、ユーザの登録例を説明します。

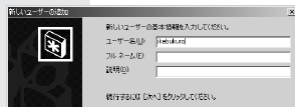
1 [スタート] → [設定] → [コントロールパネル] を選択します。
コントロールパネルが表示されます。

2 [ユーザーとパスワード] アイコンをダブルクリックします。
〈ユーザーとパスワード〉画面が表示されます。

3  をクリックします。
〈新しいユーザーの追加〉画面が表示されます。

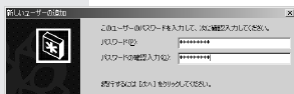
4 アクセスを許可するユーザの名称を入力し、  をクリックします。

ユーザ名は各コンピュータのコントロールパネルにある「ネットワーク」の「識別情報」（Windows98/98SE/Me の場合）などで設定している名称です。



5 パスワードを入力し、**OK** をクリックします。

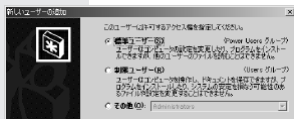
Windows98/98SE/Me の Microsoft ネットワークログオンでパスワードを入力しなかった場合は、入力する必要はありません。



6 登録したユーザに許可するグループを指定し、**完了** をクリックします。

〈ユーザーとパスワード〉画面に戻ります。

「このコンピュータのユーザー」の一覧に、追加したユーザが登録されます。



7 〈ユーザーとパスワード〉画面で **OK** をクリックします。

これで登録したユーザがアクセスを許可されるようになります。

Windows2000 の共有フォルダの設定例

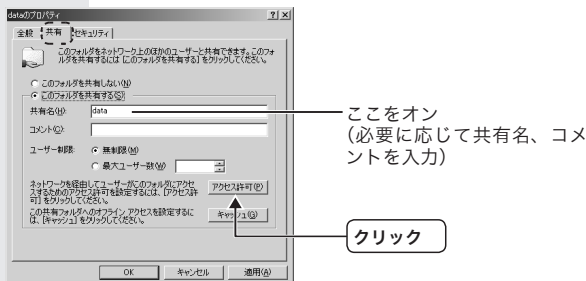
Windows2000 上のフォルダやドライブにアクセスできるように共有設定をおこないます。Windows2000 は、アクセス権の設定が Windows98/98SE/Me に比べて詳細になっています。また、NTFS フォーマットでドライブをフォーマットしている場合は、さらにセキュリティ設定が必要になります。

7 共有したいフォルダを右クリックし、メニューから [プロパティ] を選択します。

フォルダのプロパティが表示されます。

- 2 【共有】タブで「このフォルダを共有する」ラジオボタンを選択し、
アクセス許可(P) をクリックします。**

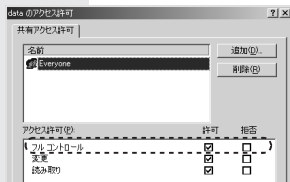
必要に応じて共有名、コメントを入力します。



- 3 「フルコントロール」に設定されていることを確認し、
OK をクリックします。**

NTFS フォーマットでは、【セキュリティ】タブでアクセス権を設定します。

FAT フォーマットの場合は、この画面で **追加(A)...** をクリックし、アクセスを許可するユーザまたはユーザグループを設定します。

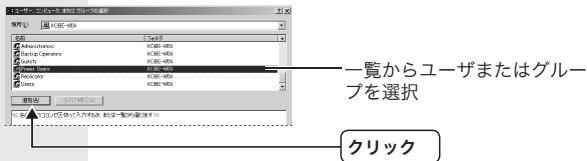


- 4 【セキュリティ】タブを選択し、
追加(A)...** をクリックします。
(ユーザー、コンピュータ、またはグループの選択) 画面が表示
されます。

5 一覧から登録するユーザまたはグループを選択し、**追加(D)...** をクリックします。

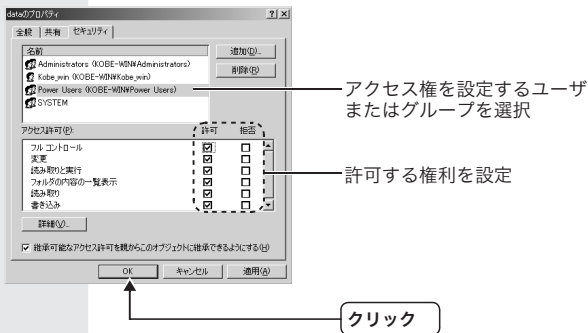
「名前」にユーザまたはグループ名が登録されます。

【セキュリティ】タブに戻ります。



グループとして追加すると、グループに参加しているユーザは全て同一の条件でこのフォルダを参照できます。

6 【セキュリティ】タブの「名前」の一覧でアクセス権を設定するユーザまたはグループを選択し、「アクセス許可」の一覧で許可する内容を設定します。設定が終われば、**OK** をクリックします。



これで登録したユーザの共有フォルダへのアクセス権が設定できました。

13 アダプタのプロパティについて

アダプタのプロパティについて説明します。初期値は一般的に最適な状態に設定されていますので、通常は変更しないでください。

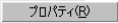
プロパティを表示する

アダプタのプロパティを表示します。

● WindowsXP の場合

- 1 スタートメニューから「マイコンピュータ」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
<システムのプロパティ>画面が表示されます。
- 2 【ハードウェア】タブを選択して、 をクリックします。
<デバイスマネージャ>画面が表示されます。
- 3 「ネットワークアダプタ」欄にある "Laneed LD-CDL/TX FAST Ethernet PC Card" をダブルクリックします。
<Laneed LD-CDL/TX FAST Ethernet PC Card のプロパティ>画面が表示されます。
- 4 【詳細設定】タブを選択します。
設定画面が表示されます。

● WindowsMe/98SE/98 の場合

- 1 [スタート] → [設定] → [コントロールパネル] を選択します。
コントロールパネルが表示されます。
- 2 [ネットワーク] アイコンをダブルクリックします。
<ネットワーク>画面が表示されます。
- 3 <ネットワーク>画面の【ネットワークの設定】タブから、
"Laneed LD-CDL/TX Fast Ethernet PC Card" を選択し、
 をクリックします。
- 4 【詳細設定】タブを選択します。
設定画面が表示されます。

● Windows2000 の場合

- 1 [スタート] → [設定] → [コントロールパネル] を選択します。
コントロールパネルが表示されます。
- 2 [システム] アイコンをダブルクリックします。
＜システムのプロパティ＞画面が表示されます。
- 3 【ハードウェア】タブを選択して、デバイス マネージャ(D)... をクリックします。
＜デバイスマネージャ＞画面が表示されます。
- 4 「ネットワークアダプタ」欄にある "Lanecd LD-CDL/TX Fast Ethernet PC Card" をダブルクリックします。
＜Lanecd LD-CDL/TX Fast Ethernet PC Card のプロパティ＞画面が表示されます。
- 5 【詳細設定】タブを選択します。
設定画面が表示されます。

設定項目の詳細

プロパティの項目を選択すると、右側の内容が項目にあわせて切り替わりますので、設定を変更します。ここでは、Windows98の項目で説明していますが、他の OS でも同様の設定項目です。

項 目	説 明	初期値
Connection Type	「Auto Sense」を選択すると、接続環境（フルデュプレクス / ハーフデュプレクス、100Mbps/10Mbps）が自動判別されます。接続環境を固定する場合は、「100Mbps」「100Mbps Full Duplex」「10Mbps」「10Mbps Full Duplex」のいずれかを選択してください。	Auto Sense
Network Address	本製品の MAC アドレスをソフトウェア上で強制的に変更したい場合に、変更したい MAC アドレスを入力します。MAC アドレスの変更は、十分知識のあるネットワーク管理者の指示で行ってください。通常は絶対に変更しないでください。	なし

付録 1 こんなときは

●本製品が正常に動作しない。

- ① ドライバを正しくインストールしましたか。各環境でのトラブル項目もお読みください。
- ② パワーマネージメント機能を有効にしていますか。有効にしていると PC カードスロットへの電源供給が止まります。
- ③ 本製品を PC カードスロットの奥までしっかりと差し込んでいますか。コンピュータ本体のマニュアルを読んで、本製品を PC カードスロットに確実に差し込んでください。

●本製品をコンピュータに取り付けたところ、コンピュータ本体が全く起動しなくなった。

現在のご使用中のコンピュータですでに使用している IRQ、I/O ポートアドレスと本製品の IRQ が競合しているか、コンピュータに本製品を使用するために必要な IRQ の空きがないものと考えられます。コンピュータ本体のマニュアルなどを参考にして、IRQ、I/O ポートアドレスの空きを確保してください。

●接続している HUB などの LINK ランプが点灯しない。

- ・ HUB などにケーブルが正しく接続されているかを確認してください。HUB に接続している場合、ストレートケーブルで接続していますか？
- ・ コンピュータ本体どうしを直結している場合、クロスケーブルで接続していますか？

●Windows98 で、本製品を差し込んでも新しいハードウェアが検出されない。

PCMCIA コントローラ (32bitPC カードドライバ) が動作していない可能性があります。特に 16bit カードドライバが動作している古い Windows から移行した場合に多い現象です。PCMCIA コントローラが正常に動作しているか確認してください。また、CONFIG.SYS にて 16bit カードソフトの記述の文頭に rem を入れることで新しいハードウェアが検出されるようになります。



プラグ & プレイに対応していないコンピュータの場合、PCMCIA コントローラを再インストールしようとしても、このマニュアルの手順ではインストールできないことがあります。この場合は、[コントロールパネル]にある[ハードウェア]を起動し、ハードウェアウィザードで「PCMCIA コントローラ」を検出してください。検出された「PCMCIA コントローラ」を選択すると PC カードウィザードが表示されますので、このマニュアルの説明を参考にメッセージに従ってインストールを実行してください。

●プラグ&プレイでセットアップしたが、本製品を正常に認識できない。

お使いのコンピュータで IRQ が競合しているか、IRQ の空きがないことが原因と考えられます。

IRQ に空きがないと、本製品をプラグ&プレイの状態でご使用いただくことはできません。コンピュータ本体のマニュアルなどを読んで、IRQ の使用状況を確認してください。

・ WindowsXP 上での使用可能な IRQ の確認方法

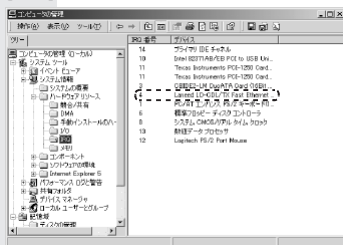
メニューバーの[スタート]→[マイコンピュータ]を右クリック→[プロパティ]を選択でシステムのプロパティ画面を表示し、→[ハードウェア]タブ→[デバイスマネージャ]ボタンをクリックしてデバイスマネージャ画面を表示します。次に[表示]→[リソース(種類別)]または[リソース(接続別)]を選択します。一覧の「割り込み要求 (IRQ)」をダブルクリックすると IRQ 一覧を表示します。この一覧から IRQ を確認します



- ・ WindowsMe/98SE/98 上での使用可能な IRQ の確認方法
メニューバーの [スタート] → [設定] → [コントロールパネル] → [システム] → [デバイスマネージャ] を表示し、「コンピュータ」を選択して **プロパティ(R)** をクリックします。一覧から IRQ を確認します。



- ・ Windows2000 上での使用可能な IRQ の確認方法
メニューバーの [スタート] → [設定] → [コントロールパネル] → [管理ツール] → [コンピュータの管理] 起動し、[システムツール] → [システム情報] → [ハードウェアリソース] → [IRQ] を選択します。一覧から IRQ を確認します。



- 本製品の設定は正常に終了したが、ネットワークコンピュータを開くと「ネットワークを参照できません。」というエラーが表示される。

- ① 正常にネットワークの設定ができていない可能性があります。もう一度、本製品の設定を確認し、OS 側が本製品を正常に認識しているか調べてください。

- ・ WindowsXP 上で本製品が正常に動作しているかを確認する方法

メニューバーの[スタート]→[マイコンピュータ]を右クリック→[プロパティ]を選択でシステムのプロパティ画面を表示し、→[ハードウェア]タブ→[デバイスマネージャー]ボタンをクリックしてデバイスマネージャ画面を表示します。[その他のデバイス]の項目があれば、ダブルクリックし、ドライバ名を確認してください。もし本製品のドライバが組み込まれていたら削除して再起動してください。

- ・ WindowsMe/98SE/98 上で本製品が正常に動作しているかを確認する方法

メニューバーの[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[システム]→[デバイスマネージャ]で[その他のデバイス]の項目があれば、ダブルクリックし、ドライバ名を確認してください。もし本製品のドライバが組み込まれていたら削除して再起動してください。

- ・ Windows2000 上で本製品が正常に動作しているかを確認する方法

メニューバーの[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[システム]→[ハードウェア]→[デバイスマネージャ]で[その他のデバイス]の項目があれば、ダブルクリックし、ドライバ名を確認してください。もし本製品のドライバが組み込まれていたら削除して再起動してください。

- ② ケーブル、HUB などを確認してください。

(現在、正常に動作しているケーブルがあれば交換してみてください。HUB の接続ポートを変更してください。)

- ③ 可能であれば、本製品を取り付けている PC カードスロットを変更してください。

●本製品の設定は正常に終了したが、ネットワークを参照できない。もしくは、使用しているコンピュータしか表示されない。

- ① ネットワーク接続に必要なプロトコル、クライアント、サービスなどの設定が、使用するネットワーク環境に合った設定になっているかを確認してください。

- ② [スタート]→[検索]の[ほかのコンピュータ]を起動し、ターゲットのコンピュータのコンピュータ名を入力し検索してみてください。

●本製品を設定すると、フロッピーディスクまたは CD-ROM を要求される。

ネットワークの設定に必要なファイルは、弊社提供のドライバの他に Windows 側で提供されているファイルも含まれています。このような場合は、表示されるメッセージに従って、Windows の CD-ROM ディスクを CD-ROM ドライブにセットし、そのドライブのパスを指定してください。

例① WindowsXP/2000 の場合
＜CD-ROM のドライブ名＞: ¥i386

例② WindowsMe/98SE/98 の場合
＜CD-ROM のドライブ名＞: ¥WIN9X または WIN98



PC カードスロットがひとつしかないため、CD-ROM ドライブが使えない場合は、セットアップを始める前に、OS のシステムソフトウェアの内容（上記の例）をすべてハードディスクにコピーしておいてください。セットアップ中に Windows の CD-ROM を要求されたら、CD-ROM の代わりにハードディスク内にコピーしたディレクトリを指定してください。

●WindowsMe/98SE/98 でネットワークに接続したが、ファイルやプリンタの共有ができない。

ネットワークには接続できて相手側へ入れるようになったが、相手側のドライブやプリンタの使用ができないときは次の点を確認してください。

- ① [ネットワークコンピュータ] を右クリックして、[プロパティ] → [ネットワーク構成の一覧] に「Microsoft ネットワーク共有サービス」が組み込まれているかを確認してください。組み込まれていない場合は [ファイルとプリンタの共有] のチェックボックスをクリックしてチェックし、 をクリックしてください。
- ② 共有したいフォルダやプリンタに共有設定をおこなっているかを確認してください。共有の方法は次のようにしてください。

- ・共有したいフォルダやプリンタで右クリックをしてメニューを表示します。
- ・共有という項目を選択し、「共有しない」になっている設定を「共有する」に変更して  をクリックしてください。

●Windows98 で、「DHCP サーバーが見つかりません」と表示される。

このメッセージはエラー表示ではありません。使用しているネットワーク環境で「DHCP サーバ」が存在しない場合に表示されます。DHCP サーバとは、ネットワークプロトコルとして TCP/IP を使用する場合、各コンピュータに必要な IP アドレスを自動的に割り当てるサーバです（通常は WindowsNT サーバやルータが設定により、必要な IP アドレスを自動的に割り当てています）。

Windows98 環境のネットワークで TCP/IP を使用した場合の初期設定では「DHCP サーバ」を使用して、IP アドレスを割り当てるようになっています。使用しているネットワーク環境に DHCP サーバが存在しない場合や見つからない場合に、上記メッセージが表示されます。実際に DHCP サーバを設定していない場合は、このメッセージが表示されたとき、今後このメッセージを表示しないように [NO] をクリックしてください。また、TCP/IP の設定をおこなう場合は特別知識を必要とすることもあります。IP アドレスの設定がわからないときはシステム管理者に相談するか、TCP/IP のプロトコルを使用しないでネットワークを構築してください。ただし、TCP/IP を使用しない場合は、他のプロトコル (NetBEUI など) を追加してください。

●Windows98SE の場合、レジューム後ネットワークに接続できない。

Windows98SE をお使いの場合でネットワークプロトコルに NetBEUI のみを使用したネットワークを構築している場合、スタンバイの際に Microsoft ネットワーククライアントなどのモジュールが正常にスタンバイ処理されないため、レジューム後ネットワークに接続できなくなります。TCP/IP など、ほかのネットワークプロトコルを追加して使用してください。

これは、本製品の不良ではなく、Windows98SE によるものです。
詳しくは Microsoft 社のサポート技術情報をご覧ください。

● サポート技術情報

<http://www.microsoft.com/japan/support/>

● W98SE: スタンバイ / レジューム後ネットワークに接続できなくなる

<http://www.microsoft.com/japan/support/kb/articles/J050/6/51.htm>

前ページの方法でも問題が解決しない場合は、Laneed サポートセンターへ連絡してください。

Laneed サポートセンターへ連絡する前に

Laneed サポートセンターにご連絡いただく際には、迅速にサポートができるように、次の内容を事前に調査・確認していただいた上でご連絡いただきますようお願いいたします。

ご連絡いただく際には、不具合の発生する端末もしくは HUB の前から連絡いただきますと、スムーズにサポートがおこなえます。

ネットワークの環境について確認します。

- ・ 使用している OS とバージョン
- ・ 使用しているネットワークアダプタのメーカー名、型番、設定内容、使用しているケーブルの種類、メーカー名、ネットワーク構成や、ネットワークに接続しているパソコンの台数

不具合の状況について確認します。

- ・ 本製品の LED インジケータ (TX, RX) や、接続しているネットワークアダプタのリンクランプの状態はどうなっていますか。

以上の内容を確認の上、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

付録2仕様

商品名	PCMCIA TYPEII 準拠 ダングレス 16bit 10/100Mbps イーサネット PC カード
製品型番	LD-CDL/TX
規 格	IEEE802.3、IEEE802.3u 標準 /Ethernet Ver2.0
メディアタイプ	10BASE-T, 100BASE-TX
伝送速度	10Mbps/100Mbps、 20Mbps/200Mbps（フルデュプレックス時）
対応バス	PCMCIA TYPEIIまたは TYPEIII
割り込みレベル	自動設定
I/Oポートアドレス	自動設定
LED	Link （緑：リンク確立） 10/100 （橙：100Mbps で通信） TX （緑点滅：データの送信） Full （緑：Full Duplex で通信） COL （橙：コリジョン発生） RX （緑点滅：データの受信）
消費電力	5V, 250mA, 1.25W
動作温度	動作時：0～65℃ 保存時：0～70℃
動作湿度	動作時：10～90% 保存時：10～90%（結露なきこと）
対応機種	IBM PC および PC/AT 互換機（DOS/V）、 NEC PC98-NX シリーズで、PC カードスロット （PCMCIA TYPEIIまたは TYPEIII）を持つ機種
対応 OS	WindowsXP、WindowsMe、Windows2000、 Windows98SE、Windows98、Windows95OSR2、 Windows95、WindowsNT4.0
付属品	ドライバディスク 1 枚、ユーザズマニュアル、 ユーザ登録カード / 保証書

PCMCIA TYPE II 準拠 ダングレス 16bit
10/100Mbps イーサネット PC カード
LD-CDL/TX

User's Manual
発行 エレコム株式会社
2002 年 6 月 15 日 第 1 版

LD-CDL/TX

Laneed

ELECOM